

2018年2月2日
日本板硝子株式会社

2018年3月期 第3四半期連結決算報告 (2017年4月1日～2017年12月31日)

- 好調な市況・コスト改善により、前年同期比で事業業績が引き続き改善
- 欧州の業績は堅調に推移
- 高機能ガラス事業の業績は改善
- 生産性の改善が引き続き進展
- 米国連邦法人税率の引下げによる繰延法人所得税の影響を受けるも、当期利益は黒字となる見込み

好調な市況・コスト改善により、前年同期比で事業業績が引き続き改善

- グループ売上高は4,494億円で、前年同期より増加（前年同期4,307億円）
- 無形資産償却前営業利益は、欧州市場の好調、高機能ガラス事業における業績改善、生産性の改善等により、274億円に増加（前年同期228億円）

	売上高		無形資産償却前営業利益	
	FY18 Q3	FY17 Q3	FY18 Q3	FY17 Q3
建築用ガラス事業	1,825 億円	1,781 億円	205 億円	207 億円
自動車用ガラス事業	2,296 億円	2,179 億円	77 億円	78 億円
高機能ガラス事業	367 億円	344 億円	49 億円	4 億円

欧州の業績は市況の好調を受け、堅調に推移

- 建築用ガラス事業では、好調な需要に支えられ、価格は堅調に推移
- 自動車用ガラス事業では、VA製品の売上が増加し、生産性の改善が進む

高機能ガラス事業の業績は改善

- 全てのセグメントにおいて、業績が前年同期より改善

生産性の改善が進展

- 生産性の改善とコストダウンで、投入コストの上昇をカバー

米国連邦法人税率の引下げによる繰延法人所得税の影響を受けるも、当期利益は黒字となる見込み

- 米国連邦法人税率の引下げによる繰延法人所得税の計上と個別開示項目費用の減少等を織り込み、2018年3月期の連結業績予想を修正

<2018年3月期第3四半期 連結決算説明資料より抜粋>

(億円)	2017年3月期	2018年3月期	2018年3月期	2018年3月期
	4月-12月期	4月-12月期	業績予想 (当初)	業績予想 (修正)
売上高	4,307	4,494	6,000	6,000
無形資産償却前営業利益	228	274	380	380
償却費*	(27)	(15)	(20)	(20)
営業利益	201	259	360	360
個別開示項目	54	(25)		
金融費用(純額)	(138)	(111)		
持分法による投資損益	8	17		
税引前利益	125	140	170	200
法人所得税	(66)	(48)		
米国連邦法人税率の変更に伴う調整額	-	(96)		
当期利益/(損失)	59	(4)	100	30
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	46	(17)	80	10
EBITDA	443	488		

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

当初予想から変更なし

下のスライド参照

2018年3月期は黒字を見込む

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

2018年3月期連結業績予想の修正(12/27開示)
<p>米国連邦法人税率の引下げに伴う繰延税金資産の取り崩し</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国の税制改革法の成立により、連邦法人税率が35%から21%へ。繰延税金資産の再評価を実施 第3四半期に税金費用として96億円を計上 これは一過性の会計処理であり、税金支払義務は増加しない 今後、米国の税金費用の削減に期待
<p>2018年3月期 連結業績予想の修正</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別開示項目費用の減少等により、税引前利益が30億円改善 親会社の所有者に帰属する利益は差し引きで70億円減少するが、当期では黒字となる見込み
<p>親会社の所有者に帰属する利益は黒字となる見込み</p>

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

決算関係問い合わせ先:

● IR部: 03-5443-0100

報道関係問い合わせ先:

● 広報部: 03-5443-9477